



平成24年4月24日

NIKOKU

PRESS RELEASE

本紙発表を以て解禁

記者発表資料
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ

竹尾IC及び海老ヶ瀬ICの渋滞が緩和！

～新潟バイパス逢谷内(おうやち)ICの開通効果(3月20日開通)～

平成24年3月20日に逢谷内ICが開通しました。開通後の逢谷内IC周辺で渋滞が減少するなどの効果が確認されましたので、お知らせします。

1. 逢谷内ICは、上下線合わせ7,300台が利用※。
2. 竹尾ICの交通量が700台※、海老ヶ瀬ICの交通量が3,400台※減少。
3. 海老ヶ瀬IC周辺道路の交通量が減少。
4. 竹尾ICオフランプの渋滞通過時間が5分短縮し、海老ヶ瀬ICオフランプの渋滞が解消。

※7～19時までの12時間交通量



※逢谷内ICは、長岡方面との出入りが可能となるハーフインターチェンジです。長岡方面へのオンランプ「バイパスへの入口」と長岡方面からのオフランプ「バイパスからの出口」が設置されました。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
 調査課長 澤山 雅則 (内線451)
 電話 025-244-2159 (代表)
 FAX 025-246-7763

新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



にいこく 検索

かわら版「にいこくひろば」ははじめました！
ホームページトップのパナーから

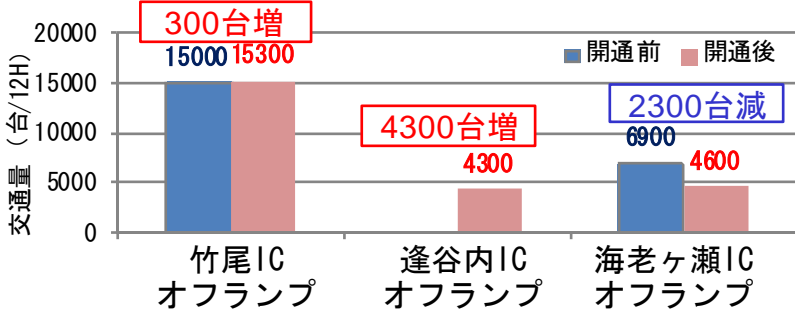
来て！見て！
にいこくひろば



1. 竹尾ICと海老ヶ瀬ICの交通が分散

- 逢谷内ICの利用交通量は上り線で3,000台、下り線で4,300台、計7,300台が利用※1。
- 海老ヶ瀬ICの交通量は3,400台減少※2。
- 竹尾ICの交通量は700台減少※2（オンランプ：1,000台減少、オフランプ：はほぼ変化なし）

新潟⇒新発田方向

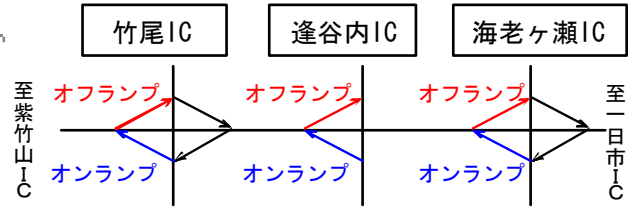


※1 7～19時までの12時間交通量

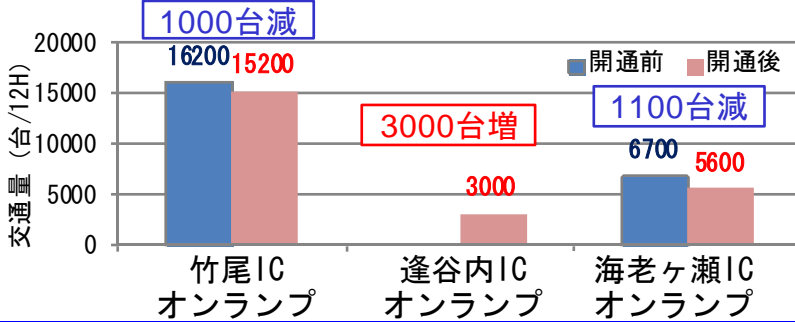
開通前調査：H23.11.8（木）

開通後調査：H24.4.17（火）

※2 紫竹山IC⇒一日市IC方向のオフランプ（出口）交通量と一日市IC⇒紫竹山IC方向のオンランプ（入口）交通量の計



新発田⇒新潟方向

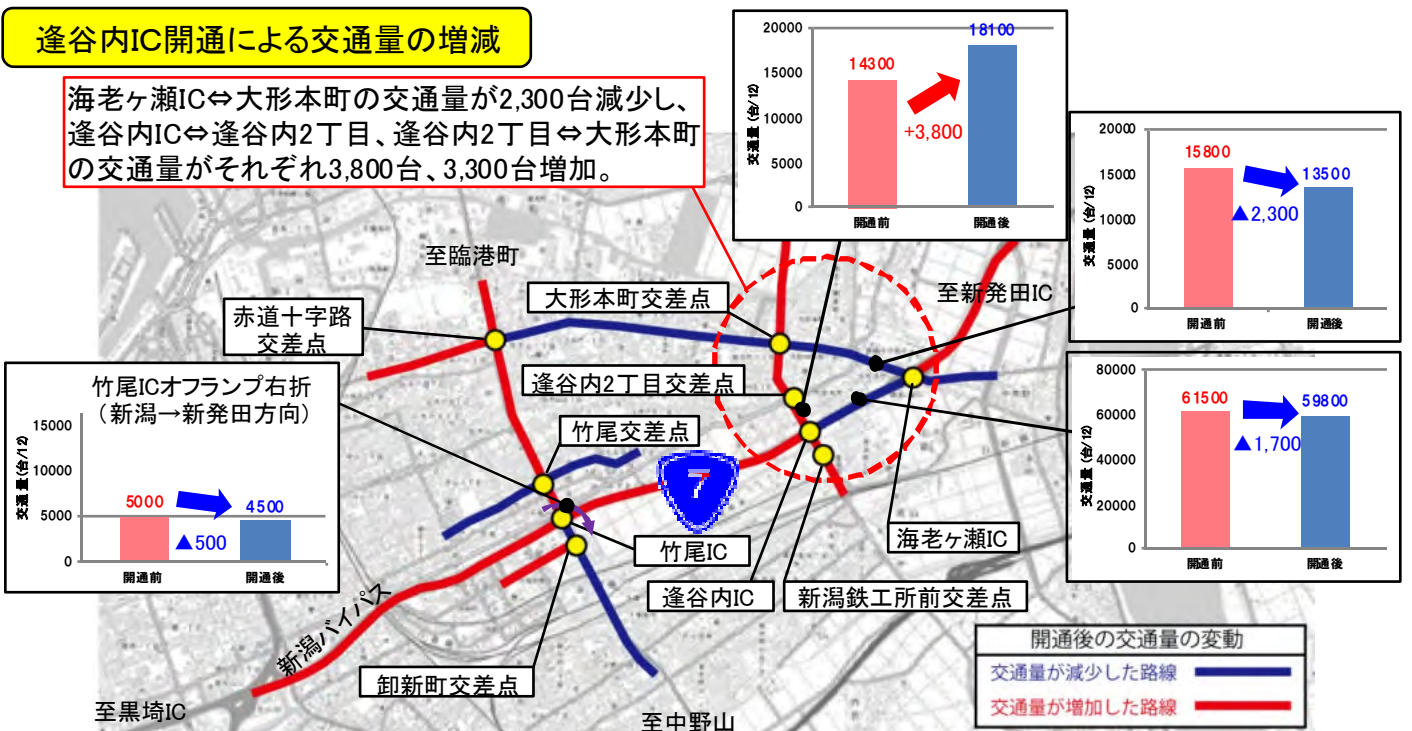


2. 周辺道路網の交通流動変化

- 海老ヶ瀬ICに接続する道路の交通量が減少し、逢谷内ICに接続する道路の交通量が増加。
- 竹尾ICオフランプの右折交通量が500台減少。

逢谷内IC開通による交通量の増減

海老ヶ瀬IC⇄大形本町の交通量が2,300台減少し、逢谷内IC⇄逢谷内2丁目、逢谷内2丁目⇄大形本町の交通量がそれぞれ3,800台、3,300台増加。

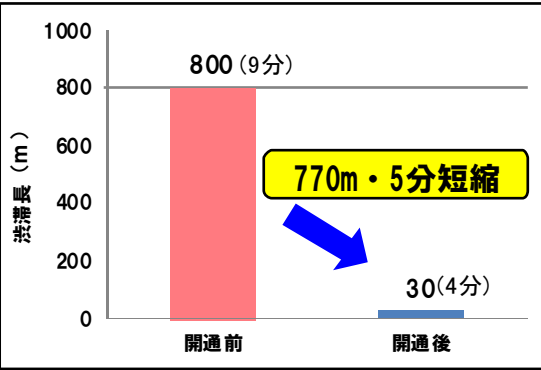


3. 交通の分散により竹尾ICと海老ヶ瀬ICの渋滞が緩和

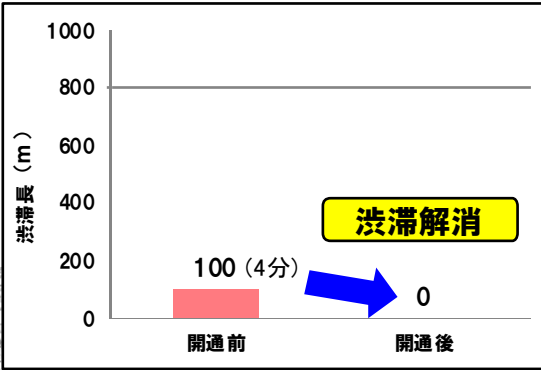
- 逢谷内IC開通後は、竹尾ICオフランプの朝の混雑時で右折交通の渋滞が5分短縮。
- 海老ヶ瀬ICオフランプの朝混雑時での右折渋滞は解消。

※朝の混雑時：7～8時

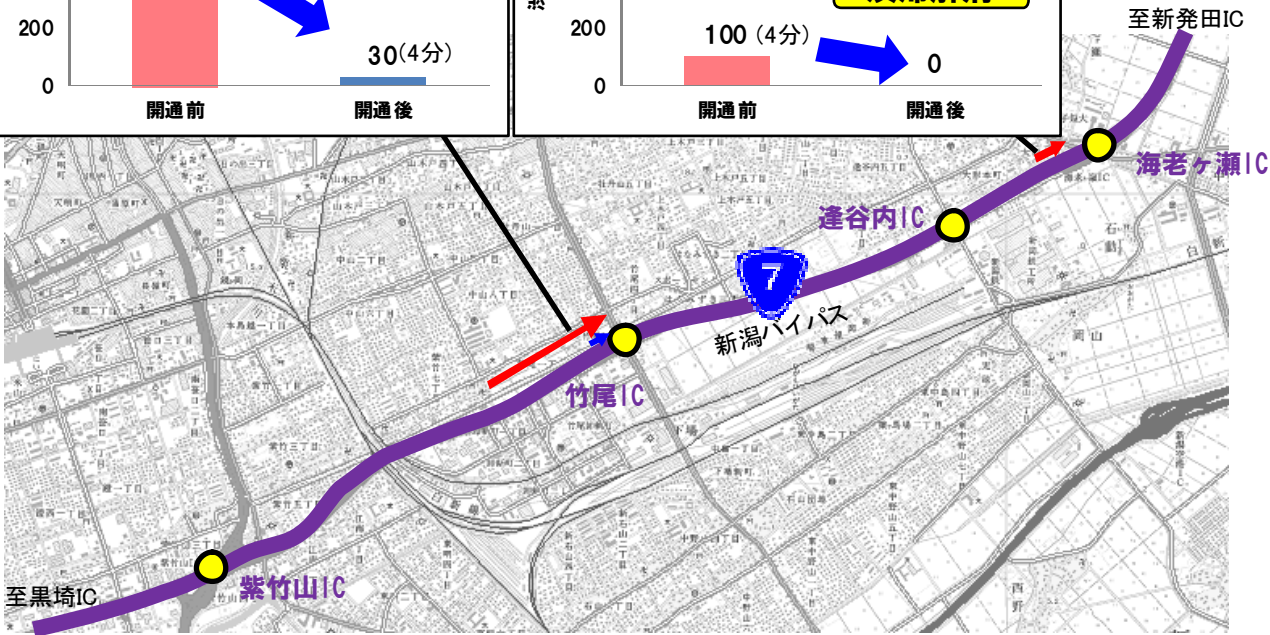
竹尾IC
(新潟⇒新発田方向オフランプ)



海老ヶ瀬IC
(新潟⇒新発田方向オフランプ)



例：800(9分) は、渋滞長が800mのとき、末尾車両が停止線を通し終えるまでの総所要時間が9分かかったことを表す



※開通前：H23.11.8(木) 開通後：H24.4.17(火)

開通前(竹尾ICオフランプ)



H23.11.8(木) 7時台

開通後(竹尾ICオフランプ)



H24.4.17(火) 7時台